



◆学校教育目標「学び合い 高め合い 笑顔あふれる きららの子」

「全国学力・学習状況調査の結果」から

本年度の「全国学力・学習状況調査」は、4月17日(火)に小学6年生と中学3年生を対象に行われました。調査の目的は、児童・生徒の学力や学習状況の現状を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への指導の充実や学習状況の改善に役立てることです。なお、調査の問題は、以下のように、学力の3要素を把握・分析するためにバランスよく構成されています。

- ・基礎的な知識および技能 ⇒ 主として「知識」に関する問題 【国・算A】
- ・思考力、判断力、表現力その他の能力 ⇒ 主として「活用」に関する問題 【国B・算B】
- ・【理科】は、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題
- ・主体的に学習に取り組む態度 ⇒ 生活習慣や学習環境に関する質問【児童質問紙】

これらの結果が、8月末に公表され、本校でも分析と考察を行い、今後の対策を検討しましたので、ご報告いたします。

【国語】

◎本校正答率が全国平均正答率を大きく上回った設問

- A ④ 登場人物の心情について、情景描写を基に考える
- B ①一 話し手の参加者として、質問の意図を考える
- B ①三 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる

- ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることができている。
- ・互いの立場や意図を明確にしなが、質問の意図を捉えることができている。
- ・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書いている。



今後も、読み取りや話し合い活動を工夫するとともに、授業で書く場面を意図的に設定していきたい。

▲本校正答率が全国平均正答率をやや下回った設問

- A ③ 目的に応じて必要な情報を捉える



目的を明確にし、調べる内容を具体的にすることができるよう、自分の活動を振り返り、新たな課題を見付けたり、目的を焦点化したりすることができるよう学習を設定したい。
また、目次や索引、見出しに着目して読む、キーワードを見付けながら読む、図表と結び付けて読むなど、図鑑や事典から必要な情報を得るための方法を児童が身に付けられるようにしたい。
さらに、他教科との関連を図り、国語科で身に付けたことを活用できるようにしていきたい。

- A ⑧ 文の中で正しく漢字を使う「積極的」「管理」「設備」「製造」



意味の違いを押さえながら、文中で漢字を正しく使えるように指導していきたい。漢字の書き取りに終始するのではなく、漢字学習においても創意工夫をしていきたい。

B ㊦三 推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える



推薦文を書くときには、推薦する目的や意図、推薦する相手、推薦理由などを明確にした上で、文章全体の内容や構成を考えるよう指導していきたい。

- ・漢字を視写するだけでなく、「話す・聞く」「書く」「読む」の書く領域の学習や実生活において、習った漢字を正しく使う意識を高めていきたい。
- ・分かりやすい文章を書くためには、相手に伝わるかどうかという観点で、再度検討したり、友達と相互に吟味し合ったりするなどの活動を取り入れていきたい。

【算数】

◎本校正答率が全国平均正答率を大きく上回った設問

A ㊦(2) 針金0.4mと0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ

A ㊦ 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ

A ㊦ 200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ

B ㊦(1) 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだす

B ㊦(1) メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、記述する

B ㊦(2) 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断する

- ・1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を正しく理解している。
- ・小数の割り算の意味を理解している。 ・百分率を求めることができる。
- ・図形の特徴を理解している。 ・グラフを正しく読み取ることができる。



今後も計算の意味と計算の仕方を正しく理解できるよう、繰り返し指導していきたい。
全国的な課題として取り上げられている割合についても、日常生活と結び付けて扱っていきたい。

▲本校正答率が全国平均正答率をやや下回った設問

A ㊦(3) 針金1mの重さを求める式を選ぶ



1に当たる大きさを求める際、割る数が小数でも割り算を用いることを理解できるよう、テープ図や数直線を有効活用して、数量の対応関係や大小関係を的確に捉えられるようにしたい。

A ㊦ 3桁の整数同士の大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く



十進位取り記数法で表された数の大小比較においては、どの位の数字に着目すればよいのかを正しく判断できるよう、数字カードを活用して条件を満たす様々な数をつくる学習を行いたい。

A ㊦ 示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ



折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができるよう、一方の数量が増加するときの他方の増減を視覚的に捉える場を設定する。さらに、グラフ全体の変化の特徴にも注目させたい。

B ㊦(2) 4色を順に繰り返すつなげ、輪飾り1本を作ったときの、30個目の輪の色を選ぶ



無答が多かった。日常生活の問題解決のためにも、事象から規則性を見だし、変化や対応の関係を基に、合理的・能率的に処理し、条件に合う事柄について適切に判断できるよう、指導を工夫していきたい。

- ・角の大きさや円周率、直径と円周の長さの関係についても理解を深められるよう指導していきたい。
- ・子ども自らが数量の関係を見だして考察し、その数量関係が他の場合でも成り立つことを確かめて、確かめた数量の関係を的確に表現する場を設定していきたい。

【理科】

◎本校正答率が全国平均正答率を大きく上回った設問

- ㊦ (3) 腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く (関節)
- ㊦ (1) 流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を書く (堆積)
- ㊦ (2) 流れる水の働きによる土地の浸食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ
- ㊦ (2) 回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ
- ㊦ (3) 回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ

- ・科学的な言葉や概念を理解している。
- ・予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。
- ・実験結果から、より妥当な考えに改善できる。

▲本校正答率が全国平均正答率をやや下回った設問

- ㊦ (1) 野鳥の雛の様子を観察するための適切な方法を選ぶ
↓
安全に留意し、生物を愛護する態度をもって観察方法を構想できるようにしていきたい。
- ㊦ (4) 人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ
↓
実際に腕が曲がる仕組みを筋肉の様子を関係付けて考え、模型を用いて説明する場を設けたい。
- ㊦ (4) 目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ
↓
これまでに獲得した「時間経過による太陽の位置や動き」と「光が当たったときに発電する光電池の性質」を児童が想起し、ものづくりへ適用できるようにする。

- ・学習を通して獲得した知識を、自然や日常生活など他の場面に適用して考えることができるよう指導していきたい。また、知識を他の場面に適用するだけでなく、解決したい問題についての予想や仮説を発想する場面などでも、説明のために模型等を活用するような工夫をしていきたい。
- ・学んだことを基にした「ものづくり」への適用ができるように、ものづくりの目的や獲得した知識をものづくりにどのように活用するかを明らかにするとともに、できたものが目的に合ったものになっているかを振り返り、設定した目的に対して、計測し、制御する学習活動を保障していきたい。
- ・友達の予想や観察、実験結果の見通しを共有できるような授業を組み立てていきたい。

【児童質問紙】62個の質問項目（新学習指導要領が求める子どもの姿、指導の在り方）

◎本校で「当てはまる」の回答者率が全国回答者率を大きく上回った質問（よい傾向にある項目）

- Q：自分には、よいところがあると思いますか？
- Q：先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか？
- Q：人の役に立つ人になりたいと思いますか？
- Q：家で、学校の宿題をしていますか？
- Q：家で、学校の予習・復習をしていますか？
- Q：家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか？
- Q：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか？（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
- Q：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか？（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
- Q：家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか？

- Q：今住んでいる**地域の行事に参加**していますか？
- Q：地域社会などで**ボランティア活動に参加**したことがありますか？
- Q：算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに**役に立つ**と思いますか？
- Q：算数の授業で問題の**解き方や考え方が分かるように**、ノートに書いていますか？
- Q：自然の中で遊んだことや**自然観察**をしたことがありますか？
- Q：理科の授業で、自分の考えをまわりの人に**説明したり、発表**したりしていますか？
- Q：理科の授業では、理科室で**観察や実験**をどのくらい行いましたか？（週1回以上）
- Q：理科の授業では、自分の**予想を基に観察や実験の計画**を立てていますか？
- Q：今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、それらの問題について、どのように解答しましたか？（全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した）

- ・今後も自己肯定感を高めるとともに、子どもたちのよい面をさらに伸ばしていきたい。
- ・学級の係活動や学校の委員会活動等を通して、子どもたちの取組を見届け、褒めたり励ましたりして、自己有用感を高めていきたい。
- ・家庭学習への取組が定着しているので、今後も継続できるよう見届けていきたい。
- ・理科の学習への取組が非常によいので、今後も継続できるよう励ましていきたい。

▲本校で「当てはまる」の回答者率が全国回答者率をやや下回った質問（課題と思われる項目）

Q：家で、**自分で計画を立てて勉強**をしていますか？



・家庭での過ごし方について、家庭科や帰りの会等で指導し、計画的に家庭学習ができるようにしていきたい。保護者の皆様もお子さんへの声掛けや見届けをよろしくお願いします。

Q：算数の勉強は**好き**ですか？



・分からないと嫌いになりやすいので、どの子にも分かりやすい授業を心掛け、丁寧に見取って支援をしていきたい。既習事項を押さえた上で学習問題に取り組み、振り返りで学びを実感できるよう、授業改善を図っていきます。

Q：算数の授業で学習したことを普段の**生活の中で活用**できないか考えますか？



・身近な素材から授業を組み立て、学習したことを活用する場を設ける工夫もしていきたい。

Q：算数の授業で問題を解くとき、**もっと簡単に解く方法がないか考え**ますか？



・複数の考え方を比較する中で、簡単で分かりやすい解き方を見いだしていけるような授業展開を工夫していきたい。

Q：学級の友達との間で**話し合う活動**を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか？



・教科や学活等の話し合い活動を充実させていきたい。意見の伝え合いを工夫していきたい。

質問紙からは、算数の授業改善が急務と思われる。（4月17日の本調査後に、既に授業改善を行っております）また、算数に限らず、友達との話し合い活動にも工夫が必要であると考えます。これらの現状を踏まえ、学校では、「伝え合い、考えを深める子の育成」をテーマに掲げて、研修に取り組んでおります。本調査は、現6年生の結果ですが、全校体制で対策を講じていきたいと思っております。

今後も家庭と地域と学校が連携して、児童の育成を図っていききたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

（文責：井村）